

風早北部
防犯情報

しょうなん

行動無くして結果生まれず

SHOW "No Action No result"



※某有名ファミリーコンピュータゲームメーカーの製品名に酷似した機械を使うことから命名された模様。

新たな車両盗難手口が発生中です その名も「ゲーム・ボーイ」※

車両盗難ツールゲームボーイとは

特徴

- ポータブルで使い方が比較的簡単
- さまざまな車種のセキュリティシステムに対応
- ターゲットは先進的なシステムを搭載した車両
- 小型で持ち運びやすく一見ゲーム機に見えるため犯行が目立ちにくい



車両盗難の手口

- 車のオンボード診断ポート (OBDポート) に接続
- 車のコンピューターシステムにアクセス
- セキュリティデータの読み取り・解析
- キーレスエントリー・プッシュスタートシステムのセキュリティを解除



なぜ GAME BOY がこれまでの車両盗難手段で最恐といわれるのか？ それはリレーアタックや CAN インバーダー【裏面・次頁参照】と違って、「その場」で即物的にスペアキーが作れてしまうからです。車種にもよりますが、スペアキー作製までの時間は数分～45分程度。1台の GAME BOY で20台分のカギ情報がメモリできる優れモノのようです。

盗難対策はアナログ方式のハンドルロック、タイヤロックが有効です。



また、車両のスマートキーから出る微弱電波を増幅させてドアを開けたり、エンジンをかけたりする「リレーアタック」（下記参照）ではカギから発する信号を使いますが、GAME BOY はドアハンドルなどの「クルマ側」から発する信号を使うところも大きな違いになっています。即ち、電波を遮断する金属のケースにカギを保管するなどの対策も無意味となってしまいます。下記のコードグラバーもいわゆるゲームボーイと酷似した盗難手口といえます。

GAME BOY にかかってしまえば、ランドクルーザー300 に採用されている純正の指紋認証などもまったく働かないとのこと。トヨタ純正の「トヨタセキュリティ」をはじめ CAN インバーダー対策の防盜用品もあまり意味がないことになります。

これまでに車両盗難ハイテク手段といわれていた手口

